



病児保育室 あんず通信 Vol.50 2020年1月号

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～溶連菌とインフルエンザについて～

昨年に引き続き溶連菌が流行しています。表には示していませんが、今シーズンは溶連菌とインフルエンザに同時に罹っている方がかなり大勢いらっしゃいます。純粋に溶連菌だけに感染した場合には、さほど咳は出ません。典型的な溶連菌感染では発熱、咽の痛み、発疹、目の充血、舌がブツブツ苺状になる、などの症状がみられます。しかし、咽の痛みのみで発熱もなにもない場合もあり、さらに全く無症状保菌者である場合もあります。一方、インフルエンザでは急な高熱、鼻水、咳などが典型的で、時に嘔吐や下痢の胃腸症状を伴う場合もあります。インフルエンザでは、身体のあちこちの関節が痛くなったり、だるさが強く出て数日間続きます。関節痛は溶連菌でもみられることがあり、どちらか区別することは難しい場合もあります。特に溶連菌では咽がとても赤くなり、扁桃腺が腫れたり、首のリンパ腺が腫れたりします。当院では、診察して「両方ともあやしい」と判断した場合には、同時にインフルエンザと溶連菌の検査を実施しています。

両方とも陽性に出た場合には、同時に両方の治療を行っています。

インフルエンザは予防接種で軽症化出来ますが、溶連菌は予防接種が無いため、飛沫感染しないために手洗い、うがいをしっかり行っていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：12月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	249
2	インフルエンザ A	173
3	胃腸炎(アデノ1 102)	142
4	水ぼうそう	25
5	アデノウイルス咽頭炎	12
6	手足口病	8
7	RSウイルス	3

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック